

SPAR 2014P

□第2回□プラント3次元計測フォーラム



開催日： 2014年12月12日（金） 会議 10:00-18:00、展示 11:00 -17:30 、交流会 18:00 - 19:30

場所：日石横浜ビル 24F （みなとみらい）

総出席者 107名 盛会にて終了

写真はすべて（株）シスプロ 渡辺宏行氏撮影

午前の発表



河村幸二（SPARJ）

岡林 健（千代田 ST）

松田 進（三徳商事）

岩田章裕（東芝 PS）

午後のスポンサープレゼン



平手友雄
（三徳商事）

小石章太郎
（FTR）

村松清臣
（ソーキ）

菊田和美
（COEJ）

佐々木公一
（リーグル）

森田彰信
（OPT）

満席の会場



パネルディスカッション

今回の最大のねらい、たっぷり2時間かけて 岩田氏（東芝PS）の司会で進行。



パネリスト：平手友雄（三徳商事）、福岡和彦（新潟原動機）、山内繁広（関電プラント）

事前に取り組み状況および関心テーマについてアンケート実施、そのサマリー

事前アンケート結果

(回答数19)



	○	△	×
<取組状況>			
1 レーザー計測を使用	18	0	1
2 写真計測	7	0	12
3 3DCAD	13	2	4
4 Intelligent CAD	3	4	10
5 社内の理解	11	6	0
<関心テーマ>			
6 プラント用ハードウェア	8	5	0
7 フォトグラメトリーの使い分け	4	9	0
8 プラント用ソフトウェア	11	3	0
9 オーナヘアピール	8	3	0
10 内部組織運用の工夫	6	1	1
11 Dimensional Control(4	3	0
12 自社（既存or新規）システム	5	5	1
13 3D CADとセットの活用	10	1	0
14 UAV	10	3	0
15 AR(拡張現実)の利用	5	8	0

1. 取り組みは進んでいる。一般的な啓蒙段階は終えつつある。
2. 5、6年以上取り組んでいる一部のところは効果享受。この2、3年で取り組み始めたところは、試行段階
3. 社内の認知は得ているが、組織業務全体への普及はこれから。まだまだ効果を高める工夫が必要。

会場からも積極的な質問や意見が寄せられた。



展示場



交流会

